



## 平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年10月28日

上場取引所 東

上場会社名 日東化工株式会社

コード番号 5104 URL <http://www.nitto-kk.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 荒川 良平

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長

(氏名) 小平 英希

TEL 0467-74-3111

四半期報告書提出予定日 平成26年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第2四半期の業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	5,163	1.1	△62	—	△70	—	△80	—
26年3月期第2四半期	5,108	5.3	5	△82.7	0	△96.1	△5	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	△2.09	—
26年3月期第2四半期	△0.15	—

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭
27年3月期第2四半期	7,562	—	2,183	—	28.9	56.88
26年3月期	7,654	—	2,259	—	29.5	58.87

(参考)自己資本 27年3月期第2四半期 2,183百万円 26年3月期 2,259百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,500	△2.5	35	11.3	15	△15.7	0	—	0.00

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期2Q	38,400,000 株	26年3月期	38,400,000 株
27年3月期2Q	17,964 株	26年3月期	17,349 株
27年3月期2Q	38,382,212 株	26年3月期2Q	38,383,168 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P.3「(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第2四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
経営概況報告 平成26年度第2四半期決算 .....	9
当期の業績予想 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における我が国経済は、政府による経済政策および金融緩和政策等の効果が発現するなかで、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動からの回復が期待されておりましたが、未だ景気回復の実感を得るまでには至っておらず、また、海外景気減速の警戒感等もあり、依然として先行きの不透明な状況が継続しております。

このような環境下、売上高につきましては、消費税増税前の駆け込み需要の反動影響があったものの、ゴムコンパウンドの受注が昨年第2四半期より好調に推移していることから、前年同期比増収となりました。一方利益面につきましては、一部自社製品の受注量が減少したことに伴い設備稼働率が低下したことや、設備投資に伴う減価償却費が増加したこと等により、大幅な減益となりました。

その結果、当期の業績は売上高5,163百万円（前年同期比1.1%増）、営業損失62百万円（前年同期は5百万円の営業利益）経常損失70百万円（前年同期は0百万円の経常利益）、四半期純損失80百万円（前年同期は5百万円の四半期純損失）となりました。

（セグメント別の状況）

（ゴム事業）

ゴム事業全体の売上高は、ゴムコンパウンドが増収となったことにより、前年同期を293百万円上回る3,587百万円（前年同期比8.9%増）となりました。

<ゴムコンパウンド>

消費税増税前の駆け込み需要の反動減があるものの、昨年の第2四半期以降、自動車関係を中心に受注が好調に推移していることで前年同期を上回る売上高となりました。

<シート・マット>

ゴムシートでは、第1四半期において受注が低調であったものの、その後建築土木関係の受注が好調に推移したことにより、前年同期並みの売上高となりました。また、ゴムマットについても、建築土木関係における粉末マットの受注が好調に推移し、前年同期を上回る売上高となり、シート・マット全体としても前年同期を上回る売上高となりました。

<成形品>

クッションタイヤの受注が好調に推移したことにより、前年同期を上回る売上高となりました。

（樹脂事業）

樹脂事業全体の売上高は、主に高機能樹脂コンパウンドにおいて、受注が減少したことにより前年同期を255百万円下回る1,501百万円（前年同期比14.5%減）となりました。

<高機能樹脂コンパウンド>

消費税増税前の駆け込み需要の反動の影響等により自動車関係の受注が減少し、前年同期を下回る売上高となりました。

<リサイクルナイロン等>

樹脂洗浄剤の販売は好調に推移したものの、リサイクルナイロンでの受注が低調だったことにより、前年同期を下回る売上高となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期末の総資産は7,562百万円となり、前期末に比べ91百万円減少しました。流動資産は、主に営業債権及び棚卸資産が減少したことにより、前期末に比べ122百万円減少しました。また、固定資産につきましては、関連会社であります(株)愛東の清算終了にともない関係会社株式が減少しましたが、設備投資を実施したことにより前期末に比べ31百万円増加しました。

負債は5,379百万円と、前期末に比べ15百万円減少しました。流動負債は主に営業買入債務が減少したことにより、前期末に比べ65百万円減少しました。固定負債は、役員退職慰労金の支払いによる減少はあったものの、借入を実施したことにより、前期末に比べ50百万円増加しました。

純資産は2,183百万円と、前期末に比べ76百万円減少しました。これは主に当第2四半期累計期間における四半期純損失によるものであります。

当第2四半期末における現金及び現金同等物の残高は164百万円となり、前年同期末に比べて38百万円の増加となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、88百万円の収入（前年同期は234百万円の支出）となりました。主な要因は、前年同期の前期末日が休日だったことにより、営業仕入債務の支払いにずれが生じたことに加えて、棚卸資産が減少したことによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは196百万円の支出（前年同期に対し36百万円の支出増）となりましたが、主な要因は、設備投資の支払額の増加によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、141百万円の収入（前年同期に対し105百万円の収入増）となりました。これは主に借入をしたことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の業績予想につきましては、平成26年10月17日に発表いたしました通期の業績予想の数値から変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	131	164
受取手形及び売掛金	2,853	2,756
商品及び製品	491	448
仕掛品	175	183
原材料及び貯蔵品	301	291
その他	107	93
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	4,060	3,937
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	724	703
機械及び装置(純額)	977	1,021
土地	1,575	1,575
建設仮勘定	35	61
その他(純額)	102	98
有形固定資産合計	3,415	3,461
無形固定資産		
その他	6	6
無形固定資産合計	6	6
投資その他の資産		
投資有価証券	52	58
関係会社株式	31	16
関係会社出資金	64	64
その他	27	22
貸倒引当金	△5	△5
投資その他の資産合計	171	157
固定資産合計	3,593	3,624
資産合計	7,654	7,562
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,919	1,760
短期借入金	1,450	1,500
未払法人税等	6	6
賞与引当金	57	72
その他	1,009	1,038
流動負債合計	4,443	4,377
固定負債		
長期借入金	589	655
退職給付引当金	320	328
役員退職慰労引当金	40	13
繰延税金負債	1	3
固定負債合計	951	1,001
負債合計	5,394	5,379

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成26年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,920	1,920
資本剰余金	0	0
利益剰余金	338	258
自己株式	△1	△2
株主資本合計	2,256	2,176
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2	6
評価・換算差額等合計	2	6
純資産合計	2,259	2,183
負債純資産合計	7,654	7,562

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	5,108	5,163
売上原価	4,647	4,812
売上総利益	460	351
販売費及び一般管理費	455	413
営業利益又は営業損失(△)	5	△62
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	2	2
その他	4	3
営業外収益合計	6	5
営業外費用		
支払利息	9	12
その他	1	1
営業外費用合計	11	13
経常利益又は経常損失(△)	0	△70
特別損失		
固定資産除却損	2	6
固定資産売却損	—	0
特別損失合計	2	6
税引前四半期純損失(△)	△1	△77
法人税、住民税及び事業税	3	2
法人税等調整額	—	—
法人税等合計	3	2
四半期純損失(△)	△5	△80

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純損失(△)	△1	△77
減価償却費	93	122
固定資産除却損	2	6
退職給付引当金の増減額(△は減少)	15	8
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△3	△26
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	△0
賞与引当金の増減額(△は減少)	△23	15
受取利息及び受取配当金	△2	△2
支払利息	9	12
売上債権の増減額(△は増加)	△58	96
たな卸資産の増減額(△は増加)	△98	45
その他の流動資産の増減額(△は増加)	53	9
仕入債務の増減額(△は減少)	△187	△158
未払費用の増減額(△は減少)	25	△6
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△41	54
その他	△0	△0
小計	△218	99
利息及び配当金の受取額	2	2
利息の支払額	△9	△12
法人税等の支払額	△8	△0
営業活動によるキャッシュ・フロー	△234	88
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△153	△225
固定資産の売却による収入	0	7
無形固定資産の取得による支出	—	△1
貸付けによる支出	△2	△0
貸付金の回収による収入	8	8
関係会社の整理による収入	—	14
その他	△11	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△159	△196
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	50	150
長期借入金の返済による支出	△24	△58
短期借入金の純増減額(△は減少)	50	50
自己株式の純増減額(△は増加)	△0	△0
配当金の支払額	△38	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	36	141
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△357	33
現金及び現金同等物の期首残高	484	131
現金及び現金同等物の四半期末残高	126	164

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

平成26年10月

# 経営概況報告

日東化工株式会社

## 平成26年度第2四半期決算

(単位:百万円:切捨表示)

	当中間期	前中間期	差異	伸び率%
売上高	5,163	5,108	54	1.1
営業利益	△ 62	5	△ 67	-
経常利益	△ 70	0	△ 71	-
特別損失	△ 6	△ 2	△ 4	-
当期利益	△ 80	△ 5	△ 74	-

## (売上高比較)

(単位:百万円、切捨表示)

事業別	当中間期	前中間期	差異	伸び率%	
ゴム事業	コンパウンド	1,961	1,719	241	14.1
	シート・マット	765	756	9	1.2
	成形品	859	817	42	5.1
	計	3,587	3,294	293	8.9
樹脂事業	高機能樹脂コンパウンド	1,173	1,390	△ 217	△ 15.6
	リサイクルナイロン等	328	366	△ 37	△ 10.3
	計	1,501	1,757	△ 255	△ 14.5
その他	73	57	16	29.3	
合計	5,163	5,108	54	1.1	

総資産

7,562

7,459

ROA

-1.9%

0.0% 経常利益/総資産(期首・期末平均)

## 決算等概況説明資料(2/2)

## 当期の業績予想

日東化工株式会社

## (1) 損益

(単位:百万円、切捨表示)

	26年度	25年度	差異	伸び率%
売上高	10,500	10,770	△ 270	△ 2.5
営業利益	35	31	3	11.3
経常利益	15	17	△ 2	△ 15.7
特別損失	△ 10	△ 10	0	-
当期利益	0	1	△ 1	-
総資産	7,700	7,654		
ROA	0.2%	0.2%		

## (2) 売上高

(単位:百万円、切捨表示)

事業別		26年度	25年度	差異	伸び率%
ゴム事業	コンパウンド	3,900	3,968	△ 68	△ 1.7
	シート・マット	1,700	1,616	83	5.1
	成形品	1,700	1,655	44	2.7
	計	7,300	7,240	59	0.8
樹脂事業	高機能樹脂コンパウンド	2,350	2,626	△ 276	△ 10.5
	リサイクルナイロン等	700	737	△ 37	△ 5.1
	計	3,050	3,364	△ 314	△ 9.3
その他		150	166	△ 16	△ 9.7
合計		10,500	10,770	△ 270	△ 2.5